

つきたい力

情報活用能力

- 情報を取り入れる力
- 情報を比較・分析する力
- 情報を他者に伝える力

取組みの概要・ポイント

- 授業以外での活用の充実が、本校のタブレット活用の要となっている
- 授業では、情報活用能力の育成を意識した課題設定している

具体的な取組みの内容



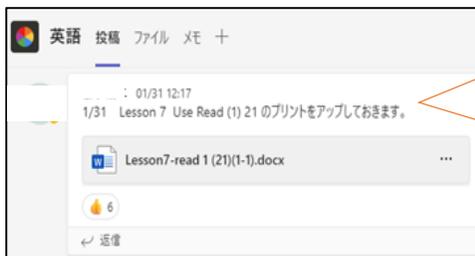
北条中学校区で作成した
ICT活用スキルチェックシート→

1. Teamsを日常的に活用することによって、タブレット活用スキルの向上をはかる

・北条中学校の特徴は「生徒が自ら情報を発信」できる仕組みができています。

報道委員会からのアンケート

もう2022年も終わりが近づいてきました。そこで皆さんに今年（4月から）印象に残った学校行事を教えてください。期間は12月21日（水）までです。↓ここから回答をお願いします。



- 生徒会は毎週「SDGs」についての情報を発信。
- 学年・クラスのチームでは「授業記録」が毎日投稿。
※休んだり、わからないことがあっても、いつでも授業内容を思い出せるようになっている。（学びの保障）
- 学年・クラスのチームでは「教え合い」や「励まし合い」が活発で、あたたかい集団づくりのきっかけになっている。

2. オンライン夏期講習

- ・社会科ではオンライン夏期講習・冬期講習を実施
- ・2学年同時に開催【学年、クラスの壁を越え、同時に学ぶことの実現】

【記録】オンライン夏期講習会②「日本地理」・③「日本の政治史」

2022_3年社会科・夏期講習会

前回・前々回のPowerPoint資料です。復習などに使ってください。欠席した人も活用してください。



3. 定期テストを廃止し、単元テストを実施

- ・単元テストでは、ICT機器を活用して、プレゼンテーション・資料作成等を行う「パフォーマンス課題」や「論文形式の出題」など、情報活用能力を問う課題の設定している。
- ・テストの内容が変わることで、授業の内容にも変化があり、これまでの知識主体型の授業ではなく、学んだことや得た情報を活かしていく情報活用能力を育む授業へと変化している。

取組みを通しての子どもの変容

本校の課題であった「思考・判断」に関して、全国学力学習状況調査や大阪府チャレンジテスト等の数値の向上が見られている。また、タブレットの活用が生徒の「学びやすさ」につながっており、以前に比べ授業に向かう姿勢が向上している。わからない課題に対してまずはチャレンジしてみようと行動できる生徒が増えた。これは、表現の幅が広がったことや、わからないことがあっても、いつでも友人や先生に聞けるという安心感が大きいと考えている。